

## STI Horizon 2020 春号発行に当たって

STI Horizon 2020 春号をお届けします。デジタルイノベーションの進展の中で、新たな科学技術研究の在り方が求められています。本号では、特別インタビューとして、国立研究開発法人物質・材料研究機構 橋本和仁理事長に「マテリアルズ・インフォマティクスがリードする材料研究・開発、そして NIMS の戦略」について、お話を伺いました。また、ナイスステップな研究者のインタビューとして、東京大学大学院総合文化研究科先進科学研究機構 加藤英明准教授と京都大学大学院人間・環境学研究科相関環境学専攻 上田純平助教にお話を伺いました。

社会や科学技術の新たな「兆し」を報告している「ほらいずん」では、2019年11月6日に開催された「NISTEP フォーサイトシンポジウム－第6期科学技術基本計画に向けて日本の未来像を展望する－」の開催報告、これに先立ち開催された「科学技術イノベーション政策関連シンクタンクの専門家ワークショップ」の実施報告を併せてお届けします。また、最近話題となっている論文の草稿（プレプリント）を掲載するプレプリントサーバーの動向を紹介いたします。「イノベーターのジレンマ」が起こるメカニズムを経済学的に解明し、ナイスステップな研究者 2016 に選定されたイェール大学経済学部の伊神満准教授へのインタビューを取り上げました。

当研究所の研究成果等を紹介するレポートとして、「研究データの公開と論文のオープンアクセスに関する実態調査 2018」に関する分析、及び、科学研究費補助金の採択課題の可視化を事例とした EBPM のための研究プログラムの分析（ARAKI システム）について紹介いたします。

本誌 STI Horizon の各記事が読者の皆様にお役に立てれば幸いです。また、お近くの方々や、SNS 等 Web メディアでの御紹介もよろしくお願いいたします。

STI Horizon 誌編集長 赤池 伸一  
(科学技術・学術政策研究所 上席フェロー)